

三重大 **X** [えっくす]

三重大学広報誌

vol.5

2006  
SPRING

CONTENTS



ホットNews  
国際交流

01 ~ 04

特集  
国際交流

05 ~ 13

特集  
〈地域と共にV〉  
附属病院Ⅳ  
特殊外来

16 ~ 20

information  
〈その1〉  
15  
〈その2〉  
29

From  
Campus  
25 ~ 28

えっくすくん  
気になる  
21 ~ 24

歴史街道  
シリーズ  
30

# 国際交流

## 世界につながる三重大学

飛行機に乗れば地球の裏側にもひとつ飛び、オリンピックやメジャーリーグもリアルタイムで楽しめる。ほんとに世界って身近になったよね。でも、よ〜く考えてみると隣の国の文化や歴史も知らないんだよね。そうそう、三重大学では毎日のようにアジア圏の大学をはじめ他の地域の大学と国際交流活動を行っているんだって。もしかしたら、世界のことを少しわかるかもよ!!



天津師範大学からの訪問団来学/2005.1



地域発国際環境情報教育プロジェクト/2005.6



▲大学間協定校であるタイのカセサート大学訪問/2005.4



▲モンクット王ラカバン工科大学と学部間協定締結/2005.9



▲モンクット王ラカバン工科大学と学部間協定締結/2005.9

▲モンクット王ラカバン工科大学と学部間協定締結/2005.9

▲モンクット王ラカバン工科大学と学部間協定締結/2005.9

▲モンクット王ラカバン工科大学と学部間協定締結/2005.9

▲モンクット王ラカバン工科大学と学部間協定締結/2005.9



国際交流センター長  
理事・副学長(情報・国際交流担当)  
亀岡 孝治



▲タスマニア大学太鼓クラブ/2005.2

▲ミヤコマの教師 児童が教育研修/2004.10

▲ミヤコマの教師 児童が教育研修/2004.10

▲ミヤコマの教師 児童が教育研修/2004.10

▲ミヤコマの教師 児童が教育研修/2004.10

▲ミヤコマの教師 児童が教育研修/2004.10

▲ミヤコマの教師 児童が教育研修/2004.10

▲ミヤコマの教師 児童が教育研修/2004.10

▲ミヤコマの教師 児童が教育研修/2004.10

▲ミヤコマの教師 児童が教育研修/2004.10

▲ミヤコマの教師 児童が教育研修/2004.10

▲ミヤコマの教師 児童が教育研修/2004.10

▲ミヤコマの教師 児童が教育研修/2004.10

▲ミヤコマの教師 児童が教育研修/2004.10

▲ミヤコマの教師 児童が教育研修/2004.10

▲ミヤコマの教師 児童が教育研修/2004.10

▲ミヤコマの教師 児童が教育研修/2004.10

▲ミヤコマの教師 児童が教育研修/2004.10

▲ミヤコマの教師 児童が教育研修/2004.10

▲ミヤコマの教師 児童が教育研修/2004.10

▲ミヤコマの教師 児童が教育研修/2004.10

▲ミヤコマの教師 児童が教育研修/2004.10

▲ミヤコマの教師 児童が教育研修/2004.10

▲ミヤコマの教師 児童が教育研修/2004.10

▲ミヤコマの教師 児童が教育研修/2004.10

▲ミヤコマの教師 児童が教育研修/2004.10

▲ミヤコマの教師 児童が教育研修/2004.10

▲ミヤコマの教師 児童が教育研修/2004.10

▲ミヤコマの教師 児童が教育研修/2004.10

▲ミヤコマの教師 児童が教育研修/2004.10

▲ミヤコマの教師 児童が教育研修/2004.10

▲ミヤコマの教師 児童が教育研修/2004.10

▲ミヤコマの教師 児童が教育研修/2004.10

## 国際交流センター

国際研究部門  
P3  
P4

国際教育部門

- 日本語教育・日本文化研修
- 英語による国際共通教育
- 異文化理解・異文化コミュニケーション教育
- 海外留学派遣
- 海外語学研修
- 国際インターンシップ
- 教育データベース

国際サービス部門

- 外国人研究者の受入
- 留学生の受入・派遣
- 外国人研究者・留学生の施設・宿舍
- 設備の管理・運営・整備
- ボランティアの組織化・運営
- 地域社会との連携
- 危機管理の構築
- 留学生データベース

三重大学国際交流センターは、2005年10月1日に、留学生センターを改編して発足しました。新組織は、国際研究部門、国際教育部門、国際サービス部門という3つの部門で構成され、三重大学国際化の要として活動しています。

### 大学間協定

大学名	国名
江蘇大学	中国
チェンマイ大学	タイ
タスマニア大学	オーストラリア
バレンシア州立工芸大学	スペイン
廣西大学	中国
カセサート大学	タイ
コンケン大学	タイ
エアランゲン・ニュンベルク大学	ドイツ
地中海(エクス・マルセイユ第2)大学	フランス
東国大学校	大韓民国
梨花女子大学校	大韓民国
西安理工大学	中国
スラナリー工科大学	タイ
パングラデシュ農業大学	パングラデシュ
天津師範大学	中国
ノースカロライナ大学ウィルミントン校	アメリカ

### 学部間協定

大学名	国名	本学締結学部
シャルル・ド・ゴールリール第3大学	フランス	人文学部
ペーラー医科大学	アメリカ	医学部
釜慶国立大学校	大韓民国	生物資源学部
清華大学熱能工程系及び工程力学系	中国	工学部
上海水産大学	中国	生物資源学部
江南大学生物工程学院	中国	生物資源学部
マーサー大学医学部	アメリカ	医学部
瀋陽医学院	中国	医学部
内蒙古工業大学	中国	工学部
ポゴール農科大学	インドネシア	生物資源学部
リヨン政治学院(リヨン第二大学)	フランス	人文学部
ウェイン州立大学医学部	アメリカ	医学部
ハッサン2世農獣医学大学	モロッコ	生物資源学部
レイテ州立大学	フィリピン	生物資源学部
タマサート大学科学技術学部	タイ	生物資源学部
上海第二醫科大学	中国	医学部
ロストック大学医学部	ドイツ	医学部
河南師範大学外国語学部及び教育科学学部	中国	教育学部
モンクット王ラカバン工科大学	タイ	工学部

### タスマニア大学

オーストラリア本土の東南に位置するタスマニア州は北海道とほぼ同じ大きさの島。約1カ月ホームステイしながら英語を学びます。



▲校内カフェ

▲タスマニア大学で授業を受ける三重大生

▲校内

### エアランゲン・ニュンベルク大学

エアランゲン大学でのドイツ語研修の特徴は、一般的なドイツ語授業以外に、日本学を専攻しているドイツ人学生と一緒に言葉や文化を学ぶことにあります。また、期間中ずっとホームステイをするので、ドイツ人の日常生活について知ることもできます。



▲エアランゲン市内中心部。中央右手の建物は1702年築の「鐘楼」で、かつては領主本人の居宅。現在は大学の事務局が入っている。

▲ダンス授業。日本学を専攻しているドイツ人学生と一緒に。

### 天津師範大学

「語学研修&文化交流」のプログラムでは、四千年の歴史や文化の交流、中華料理や生活にふれることで、研修で学んだ中国語の理解をさらに深めることができます。



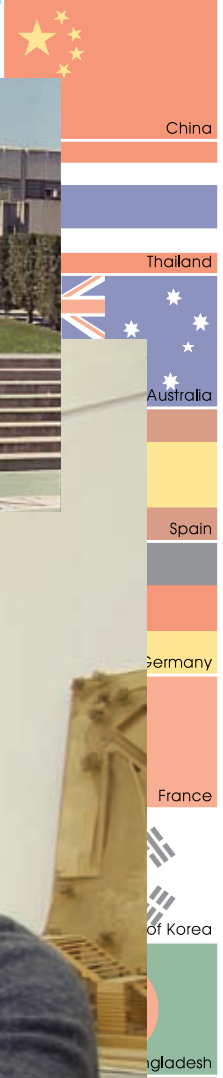
▲餃子作り

▲紫禁城で

▲太極拳体験

国際交流センター・副センター長  
花見 槇子 教授





# SPECIAL 特集 国際交流 EDITION

パレットに並ぶ貴重な色彩  
スペインのオレンジ

UPV CAMPUS : VALENCIA, SPAIN▶

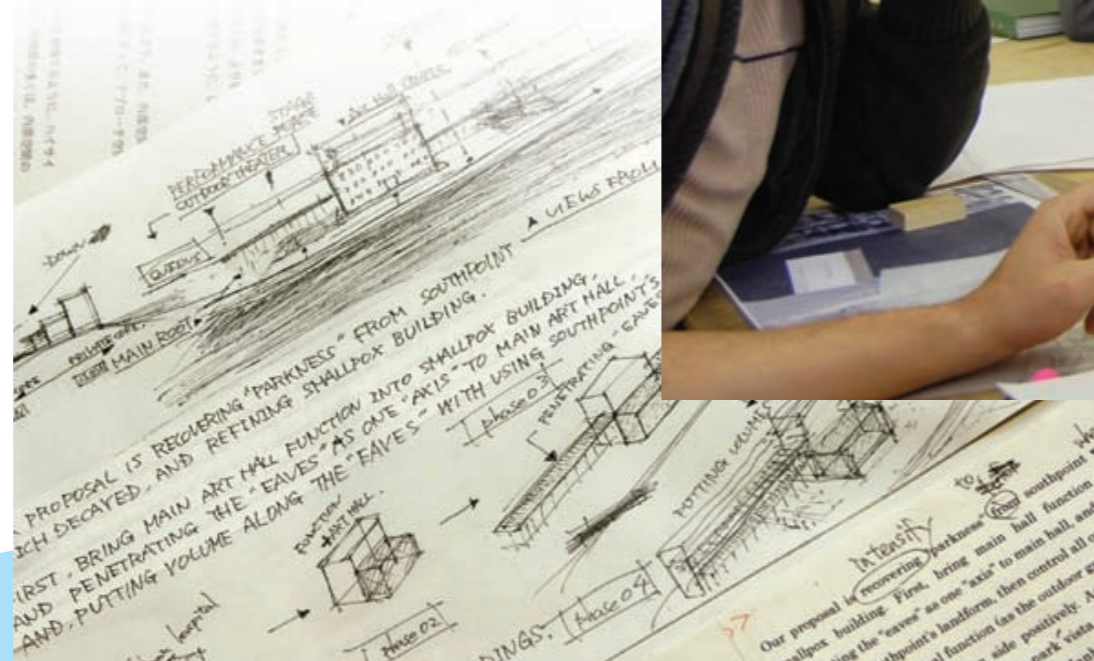
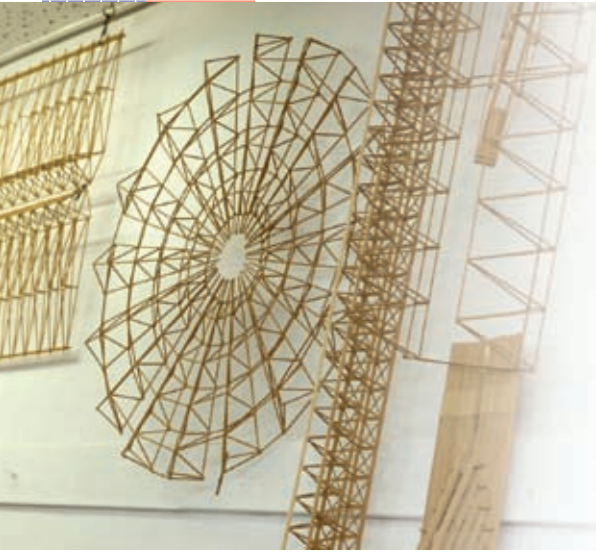
## 国際化というコトバと留学の変容

「国際化」というコトバが流行っている。大学では「国際的通用性」とか「仕事で使える英語教育」とか言われている。この手の用語に僕が感ずるのは、外国を無意識に先進国に限定し、そこに欧米諸国をあてはめ、無批判にバラ色に染めあげて見る、妙なコンプレックスの痕跡だ。おそらく、かつてドルが360円だったころ、日の丸を背負って「彼の地の進んだ学術を吸収してこよう」と決意したエリートたちの感覚が、指導者たちの思考を今だに曇らせているのだろう。

実情はもうとっくに違う。もはやどんな人も日本人であるだけでは十分ではない。どこかの国に赴きその文化に触れることなど、明日起こっても不思議はない。日本であって、一日外国人の姿を目にしないで過ごすことなどほとんどない。国際化は事実なのだ。

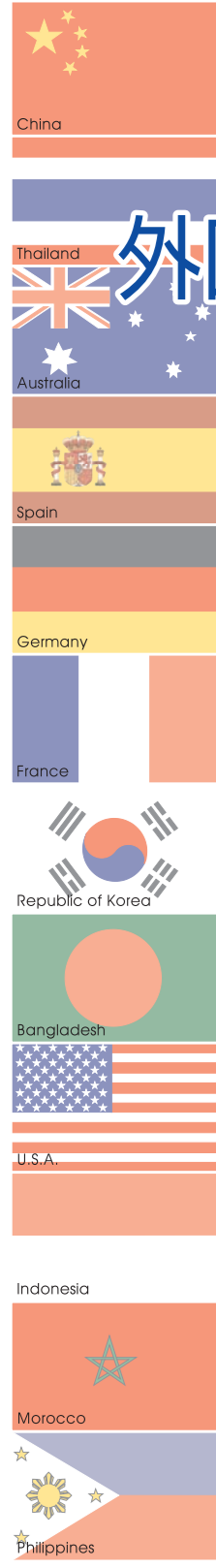
妙な国際コンプレックスこそ国際化の妨げなのだと思ふ。本当のところ「仕事で使える英語」などごく基本的な能力だし、「彼の地の進んだ学術を吸収してこよう」という信条は自らの能力をいたすらにおとしめる効果しかもたない。実際に必要とされるのは、スペイン語だったりマレー語だったり、あるいは単に根性だったりするのだ。

だから学生は、学位課程入学と貧乏旅行を折衷して、交換留学へと移行してきた。先進国・途上国の先入観なく活発に赴いて、むしろ自分の文化や考え方や学問を逆照射し、そして「やって行けそうだ」という自信を掘り出してくるのだ。パレットに並んだ各国・各文化の彩りの幅こそが、現代の国際化なのであり、そのことを今の学生は分かっている。スペインのオレンジ色も、我々の手にした貴重な色彩のひとつなのだ。



三重大学工学部・助教授  
富岡 義人  
Tomioka, Yoshito

[URL] <http://alvar.arch.mie-u.ac.jp/tomioka-lab/min.html>



この街で出会い、共に生きる

# SPECIAL EDITION 特集 国際交流

## 外国人支援ボランティアと子どもたちの学習支援 ～地域が進む多文化化のために～

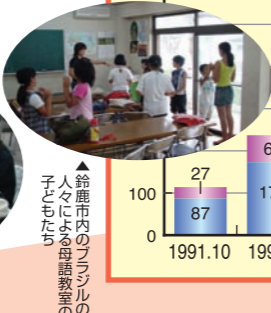


伊賀地区の外国人児童生徒  
高校進学ガイダンス

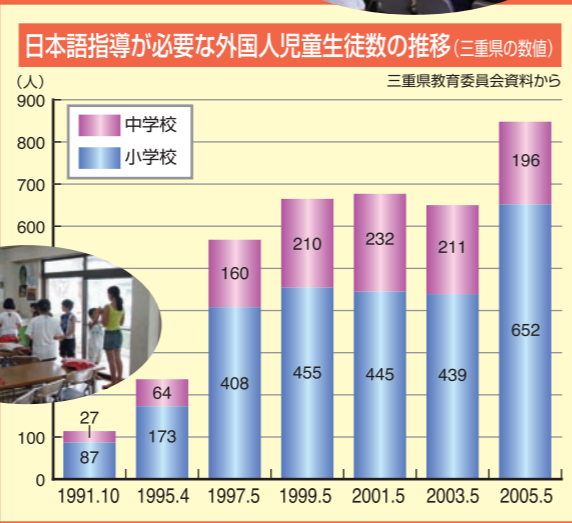
三重大学文学部・講師  
藤本 久司 Fujimoto, Hisashi  
[URL] <http://www.human.mie-u.ac.jp/~fujimoto/>



外国から来た中学生学習サポート「ジョイア」での様子



▲鈴鹿市内のブラジルの子どもたち

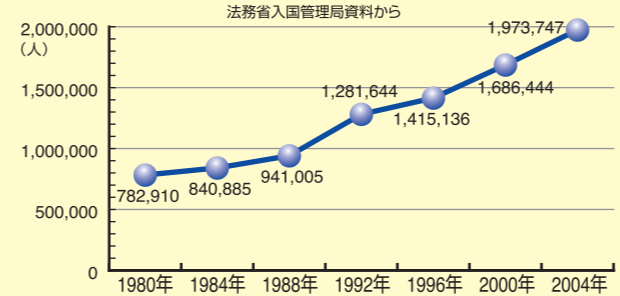


### ●外国人住民支援ボランティアの広がり

1993年、私は伊賀地方で約30名のメンバーとともに、日本語を学ぶ外国人を支援するボランティア教室を立ち上げ、グループ代表として11年間関わりました。活動は毎週2回夜。教えるボランティアも様々な職業の人、教えられる外国人も働いている人とその家族でした。活動は日本語学習だけでなく、生活相談、学習支援などにも広がりました。

90年代、こうしたボランティアグループが全国各地で生まれ、行政、日本人住民と外国人住民の対話・交流の仲介者として重要な役割を果たしてきました。1997年には三重県内の15のボランティア教室によって「みえにほんごネットワーク」(代表:藤本)が結成され、団体間の有意義な情報交換や交流の場となっています。

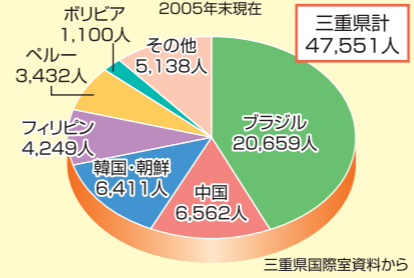
### 日本の外国人登録者数の推移 (各年末現在)



### ●多文化共生

～文化背景の異なる人々が国内各地で、同じ地域の住民として共に生活しています～  
日本の外国人登録者数は、1990年の出入国管理法改定を契機として増加のペースを増し、現在、約200万人(日本の全人口の約1.6%)となっています。

### 三重県の外国人登録者数(国籍別)



### ●「国境を越えた子どもたち」

2005年秋、三重大学学生と教員有志など十数名が集まり、外国から来た中学生の学習・進学支援のボランティア活動を始めました。週1回夕方、津市内の中学生10名余りが参加しています。

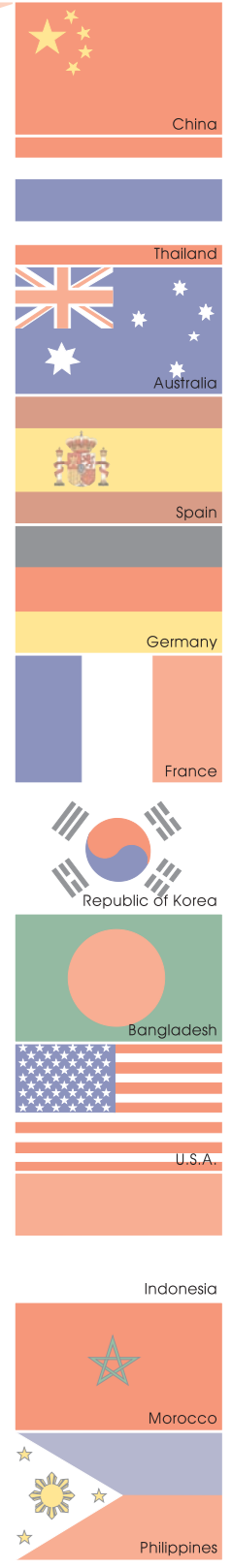
幼少時や小中学生時、国や家族の事情によって母国を離れ、日本に来る多数の子どもたちがいます。子どもたちは言葉や習慣の違う日本で様々な障壁やストレスを乗り越え、誤解や偏見と闘いながら、日本語を覚え学習に励んでいます。社会全体の受入れシステムが不十分中でもそれぞれが自分の未来を切り開こうとしています。**子どもは世界のどの国にいても義務教育を受ける権利があり、国はその権利に応える責任があります。**多文化の時代に即した対応と変革が求められているのです。

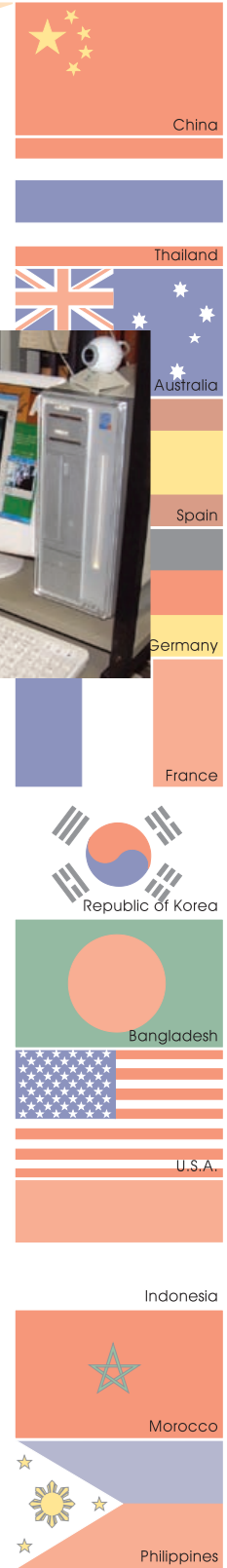
### ●「多文化が共演する時代」

海外にルーツを持ち日本で成長した(または、生まれた)子どもたちの多くは、将来の日本社会の貴重な構成員となっていくでしょう。現在、全国で多くのボランティア・NPOが、外国人住民やその子どもたちを対象に様々な形態の活動を続けていることは心強いことです。共生のため積極的な施策を進める自治体も徐々に増えています。ルーツの異なる人々とともに作り上げる多文化社会が来ようとしています。**“異文化を客席から眺める時代”は過ぎ、“多文化が共演する時代”を迎えつつあるのです。**



ペルーの民族音楽グループ「ワウヘミカンキ」(三重大学学生と伊賀の外国人青年交流会にて2004年12月)





バーチャル ユニバーシティの実践

## 米国大学との遠隔授業



### ●遠隔授業って？

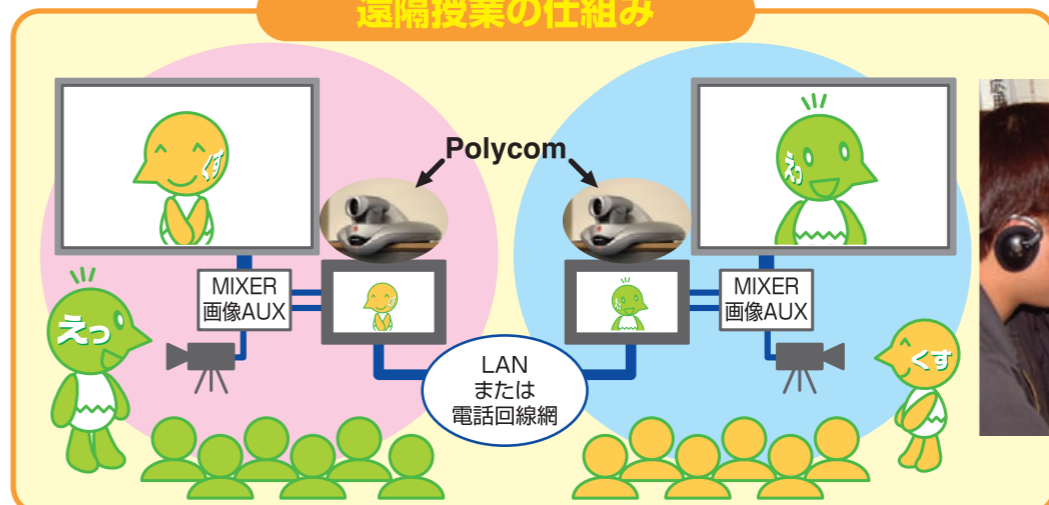
私が行っている遠隔授業は、ポリコム（右図参照）というテレビ会議システムを使い、三重大とアメリカの大学を同時につないで、日本人とアメリカ人の学生が直接に共同授業を受け意見交換をする、というものです。1998年以來後期の授業でノースカロライナ大学ウィルミントン校及び<sup>※1</sup>ミシガン大学と行っています。時差が13時間もあり、日本の午前8時50分は向こうでは前日の午後6時50分で、アメリカ人の学生に待機してもらっているのです。

※1 ノースカロライナ大学ウィルミントン校【URL】 <http://www.uncwil.edu/> ※2 ミシガン大学【URL】 <http://www.umich.edu/flash.html>

### ●授業内容

1学期のうち間隔を空けて4～5回、教育学部英語科を中心とした学生と、アメリカの「日米文化比較」や「日本語」受講学生とで遠隔授業を行います。「キャンパスライフ」、「恋愛」、「就職」、「教育」などのテーマを決め、英語で討論を行うことで互いの文化について理解をより深める、と同時にこれまで学習してきた英語を実際にコミュニケーションの場で使用し、さらにその能力を高めることを目的としています。

### 遠隔授業の仕組み



＊ポリコムの仕組みは、ポリコムにインターネット回線とテレビ受像器を接続するのみ、という簡単なものです。回線速度にもよりますが、鮮明な画像とクリアで時間的ズレのない音声特徴です。

▲インターネット上の授業掲示板を使い書面での意見交換や、パソコン画面で向かい合い二人だけの音声通信（「ネットミーティング」）を行うこともあります。

### ●受講生の反応は？

遠隔授業受講前は、日本人の学生もアメリカ人の学生も、どちらかといえば自国文化については否定的に、相手文化は肯定的に捉えています。しかし遠隔授業を通して両文化に同時に触れることにより、バランスのとれた文化感を身につけることが可能となります。

一方、質問への回答や即時の意見を求められた時、また続行中の討論にどのように加わり発言したらいいのか迷う時等、英語使用の難しさを痛感していますが、これらを乗り越えることでより実践的な英語力を身につけていきます。

### ●今後の課題

長年使用言語は英語でしたが、最近はアメリカ人学生にも日本語使用の機会を与え、場面により英語と日本語を使い分けることがあります。今後は、双方向の教育現場として、日本人学生にもアメリカ人学生にも、内容的・言語的に、種々な分野で有意義となる遠隔授業の展開を図っていきたいと思います。



三重大教育学部・教授  
早瀬 光秋  
Hayase, Mitsuaki

【URL】 <http://www.cc.mie-u.ac.jp/~lq20102/>



China

Thailand

産学官の連携ですすむ  
未来型医療

# SPECIAL 特集 国際交流 EDITION

## みえメディカルバレープロジェクトと三重大学

Valley project

### ★三重のバレー構想★



シリコンバレー  
(半導体産業)

クリスタルバレー  
(液晶などのディスプレイ産業)

三重県  
三重大学 等

### ★メディカルバレー★

【URL】  
<http://www.piis.pref.mie.jp/dat/us/vall/doc.html>

医療・健康・福祉分野の産業振興  
大学・研究機関・企業などによりネットワークを形成

医療・健康・福祉産業の創造と集積を目指す

●医療・健康・福祉産業欧州ミッション団派遣  
企業・大学・県・市・JETRO・TLO等25名程度  
で団を形成し、ベルリン・スウェーデン・ド  
イツなどを訪れ、協定締結・視察な  
どを行っている。

### ★バイオコンバレー★



▲ロストック大学 (MV州の中心都市ロス  
トックにあり、1400年代初頭にでき  
たヨーロッパでも3番目に古  
い大学)

### ★メディコンバレー★



▲ルンド大学 (バルト海に面したスウェー  
デンの大学で、デンマークとの交流  
が盛ん。新興分野の発展が著  
しい。)



China

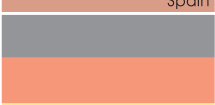
Thailand



Australia



Spain



Germany



France



Republic of Korea



Bangladesh



U.S.A.



U.S.A.

Indonesia

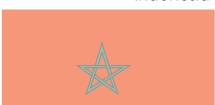


Morocco



Philippines

Indonesia



Morocco



Philippines

### ●メディカルバレー

三重県では、先端産業の集積として3つの「バレー構想」を立ち上げています。その中の1つとして、県下の健康福祉産業の推進を図るため、「産」「学」「官」連携の**メディカルバレー**事業を展開しています。

### ●バイオコンバレーとメディコンバレー

旧東ドイツに属するメクレンブルグホアポメルン州 (MV州) では、健康福祉産業が盛んで、**バイオコンバレー**という産学官共同事業が進められています。同州の中心都市ロストックは、連邦政府や州政府の強力な援助のもと、

産業経済科学技術等あらゆる面で大きく発展しています。

また、スウェーデン・デンマークにおけるスカンジナビア地方では、**メディコンバレー**が、ルンド大学を中心に展開されてきています。

日本貿易振興会 (JETRO) がこれら3事業を仲立ちし、提携の推進が図られました。

### ●「学」の交流

三重大学、ロストック大学、ルンド大学の3大学は、それぞれこれらの3つのバレー構想の「学」の要として機能し、事業の推進に貢献しています。ミッション団の派

遣をはじめとした交流の中で、医学部間の連携と学術協定の締結 (ロストック大学と2004年締結、ルンド大学とは現在協議中) が実現しました。

2005年9月、ロストック大学との交流事業として2日間にわたり、三重大学で**第1回日独再生医学会議**が開催されました。会議には、ドイツからは約30名が、三重大及び三重県内からも学生・研究者が多数が参加、国内外の世界をリードする研究者による先進的再生医学研究の成果が発表されました。(来年は、ドイツで開催される予定です。)

再生医療は、将来の発展が期待される若い**未来型の医療分野**です。三重大学医学部では複数の再生医学研究室を新設し、将来の展開を目指し拠点化を推進しています。再生医学医療の発展は、それに伴う産業 (医療材料等) の振興にも大いに貢献すると考えられます。

### 【再生医療】

損傷した組織臓器に替わって、自身の再生能力を利用して組織を機能的形態的に回復させる医療で、従来の外科切除や臓器移植よりも一歩進んだ未来型医療といわれています。ヒト胚性幹細胞 (ES細胞) の研究により再生医療への期待が高まっています。

適正な農薬使用で  
作物を育てる

# SPECIAL EDITIO

## 国際交流

### JICAプロジェクト「北部タイ省農業適正技術計画」

- 目的** 省農業技術の確立とその普及  
 バラ、キャベツ、ミカンモデル作物として、収量や質を落とさず農薬の使用量を減らす
- 構成** 病虫害診断部門:病虫害の診断と適切な薬剤散布および畑の衛生管理  
 農業分析部門:農作物および土壌中の残留農薬の分析  
 IT・普及部門:省農業技術普及のウェブページ作成とワークショップの開催

# JICAプロジェクト「北部タイ省農業適正技術計画」

三重大学生物資源学部・学部長  
天野 秀臣  
Amano, Hideomi



タイでは、農産物の生産性を上げるために過剰な農薬使用による残留農薬が問題になっています。EU諸国や中国が、高い残留農薬が検出されたタイ産の野菜や果物の輸入をストップしました。日本もタイから多くの農産物を輸入しており、我々にとっても他人事ではありません。

タイ政府はこれらの問題を重要視し、特に状況が深刻な北部タイに焦点を当て、我が国への協力を要請しました。そこでチェンマイ大学を拠点として、三重大学と香川大学がサポートする形で、JICAプロジェクト「北部タイ省農業適正技術計画」(2003年11月～2006年10月)がスタートしました。三重大学生物資源学部からはプロジェクトリーダーの天野秀臣学部長、管理運営担当の伊藤進一郎教授を始め20名近くの教員が携わっています。

日本では、使用が認められている農薬の、適応作物・使用濃度・使用量・使用回数・使用時期などが厳密に定められ、食品中の残留農薬についても農薬ごとに基準値が

設けられています。さらに農薬のデータベース化や栽培方法のIT化も進んでいます。一方、タイでは一部の農薬について残留基準が定められていますが、病虫害の防除法として大量の農薬投与に頼るケースが多く見られ、大多数の農民は農薬を減少させる方策を求めています。

プロジェクトの前半では、このような現状を把握した上で病虫害診断や残留農薬の分析に必要な機器をチェンマイ大学に整備し、診断や分析の技術を指導しました。さらにバラ、キャベツ、ミカンを対象にモデル農家を設定し、6～7人が1グループとなって農薬を抑えても問題なく作物ができることを農民にアピールしました。

現在は、モデル農家から得られた情報をデータベース化するとともに、適切な農薬の使用方法などを示したタイ語のウェブページを作成しています。また農民を対象にワークショップを開き、病虫害診断の基本技術、ウェブページやITの利用方法などの普及活動を行っています。プロジェクトは本年10月に終了しますが、6000万人を超えるタイ国民の半数を占める農民への普及活動に対して引き続きタイ政府から援助の要請が来ており、今後も国際貢献のため省農業技術の普及活動を続ける予定です。

▼プロジェクト：タイ語HPの作成  
 [URL] <http://attract.agri.cmu.ac.th/kem/home/index.asp>



三重大学生物資源学部・教授  
伊藤 進一郎  
Itou, Shinichirou



三重大学生物資源学部・助教授  
梅川 逸人 Umekawa, Hayato  
 [URL] <http://www.bio.mie-u.ac.jp/junkan/kohgaku/lab5/>



**農薬の弊害**  
 農薬中毒患者は死亡患者も含めて北部タイで毎年1500人前後(タイ全体では3000～4000人(日本の約20倍)と推測)。流域の土壌・水質汚染、地下水汚染が進行し、農作物から高濃度の残留農薬が検出。



**【チェンマイ】**  
 首都バンコクの北約700kmにあり、「北方のバラ」と呼ばれる人口約26万人の古都。タイ北部の行政、経済、産業、文化の中心地。

**【タイ】**  
 インドシナ半島中央部にある王国で、国土の面積は日本の約1.4倍あり、東南アジア随一の穀倉地帯を有している。

**JICA (独立行政法人 国際協力機構) <http://www.jica.go.jp/>**  
 日本と開発途上国の人々をむすぶ架け橋として、互いの知識や経験を活かした協力をすすめ、平和で豊かな世界の実現をめざしている。





# 大学の図書館職員はこんなことをしています

## その1



「三重大にはどんな本があるの?」一昔前なら、カード式目録をせっせと調べなければなりません。今では、OPAC(蔵書目録データベース)を検索すれば、一瞬のうちにわかります。図書館では、図書を書店から購入すると、支払処理と平行して、目録担当職員がデータベースにも入力作業を行っているのです。さらに、国立情報学研究所(NII)の総合目録データベース(NACSIS-CAT)にも同時登録し、全国の研究者や学生さんが、相互に図書館の資料を利用できるようになっています。大学図書館ですから、英語や中国語はもちろん、時には見たこともないような言語の資料を受入れて四苦八苦することもあります。最近では、海外の大学からも三重大の所蔵資料の利用申込が舞い込むようになりました。また、三重県図書館情報ネットワーク(MILAI)にデータを提供し、地域の皆さんにも本学の蔵書をご利用いただいています。

先生方からリクエストのあった図書を、できるだけ早くしかも安く買える書店に発注したり、絶版となった図書を古書店から探し出したり、発注作業も図書館職員の腕の見せどころです。また、電子ジャーナルや電子ブック、オンラインデータベースなど、次々登場する新しいサービスに目を光らせ、研究や学習に役立つ最新の情報を収集・提供する「学術情報の総合商社」としての役割を果たそうと努力しています。(総合情報係)

## \*\*\* 三重大 知の支援センターから \*\*\*

「アスト津」の3階に「三重大 知の支援センター」があります。ここでは、三重大のインフォメーション窓口として大学が保有する様々な知的情報を、NPO団体をはじめ地域のみなさまに提供しています。

- 公開講座・生涯学習のお知らせ
- 各学部の資料の閲覧
- 大学の募集要項の配布
- 入試関係の情報
- 附属病院に関するお問い合わせ

など三重大に関する情報なら大学まで出向かなくても、このセンターで得ることができます。



● 場所 / 〒514-0009 津市羽所町700 アスト津 3階 みえ県民交流センター内 ● 開設時間 / 午前11時~午後6時(土、日、祝日を除く)  
● お問い合わせは... / TEL・FAX 059-213-7891 【URL】 <http://www.mie-u.ac.jp/home/chinoshienn/> メール chinosen@luck.ocn.ne.jp



日本医療機能評価機構

# 三重大 医学部 附属病院 IV

# 特集 地域と共にV 特殊外来



## 募集

附属病院では、看護師さんと助産師さんを募集しています。あなたの笑顔をお待ちしています。



お問い合わせは  
**三重大学医学部附属病院看護部**  
☎059-231-5183 or 059-231-5184

\*病院説明会は随時開催中\*



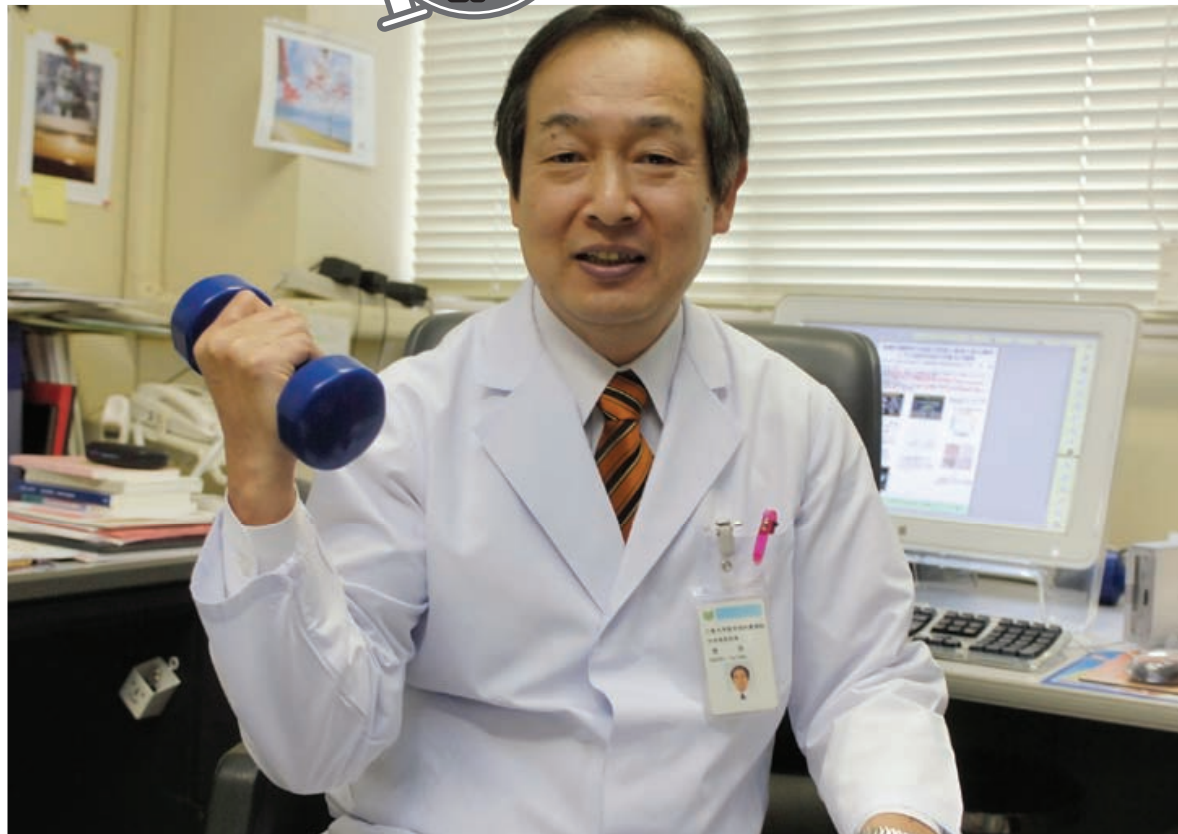
写真提供: (有)コミュニケーションサービス

特集

地域と共にV

三重大学  
医学部  
附属病院  
IV

三重大学大学院医学系研究科・教授  
三重大学医学部附属病院オーダーメイド医療部・部長  
登 勉 Nobori, Tsutomu  
[URL] <http://www.medic.mie-u.ac.jp/kensa/frame.html>



## オーダーメイド医療部 個人の特性に基づく治療法

### あなたは自分の血液型を知っていますか？

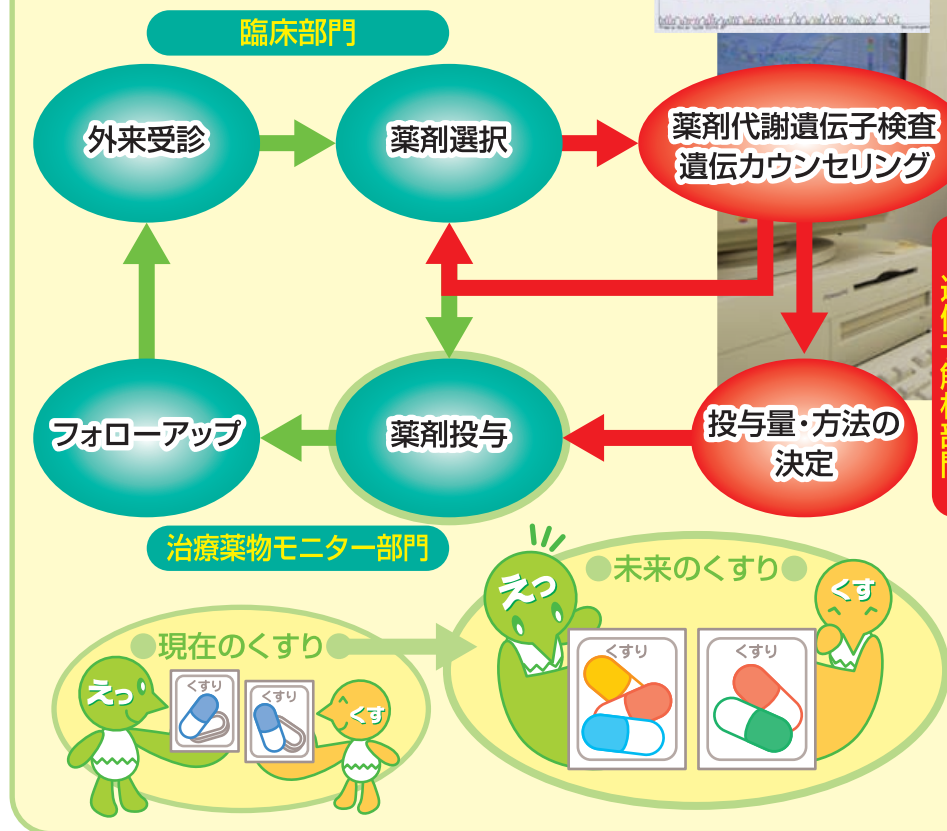
ほとんどの人は自分の血液型を知っているでしょう。友だちの血液型まで知っていて、「A型だから性格は...」なんて性格判断をする人がいるかも知れません。個人の血液型を知ることは、性格判断のために役立つのではなく、手術や事故などで輸血が必要な時には非常に重要です。



### ●オーダーメイド薬物療法

ヒトゲノム計画等の国際プロジェクトの成果として、ヒトの設計図である遺伝情報の全容が解明されました。その結果、血縁関係のない場合でも、遺伝情報の99.9パーセントは同じであることがわかりました。しかし、0.1パーセントの違いの中には、医学上有用なものが含まれています。特に、薬剤代謝関連酵素遺伝子と呼ばれる遺伝子群の個人差(遺伝子多型といいます)は、薬の種類や量を定める時には重要な情報になります。遺伝子多型を検査し、その結果に基づいて治療することを**オーダーメイド薬物療法**といいます。

### \*オーダーメイド薬物療法システム\*



遺伝子解析部門



三重大学医学部附属病院・講師  
オーダーメイド医療部・副部長  
中谷 中  
Nakatani, Kename



三重大学大学院医学系研究科・教授  
オーダーメイド医療部  
治療薬物モニター部門長  
奥田 真弘  
Okuda, Masahiro

### ●未来のくすり

医療の現場では個人の特性に基づく治療が求められています。薬物療法を例にとると、これまで「この薬は私に良く合う」「あの薬を飲んだら副作用がでた」というように表現されていたことを、その個人の特性(この場合は、薬という化学物質を体内で違う物質に転換する働き一代謝といいます)の1の違いを知って、薬の選択や量を決めようとする試みです。

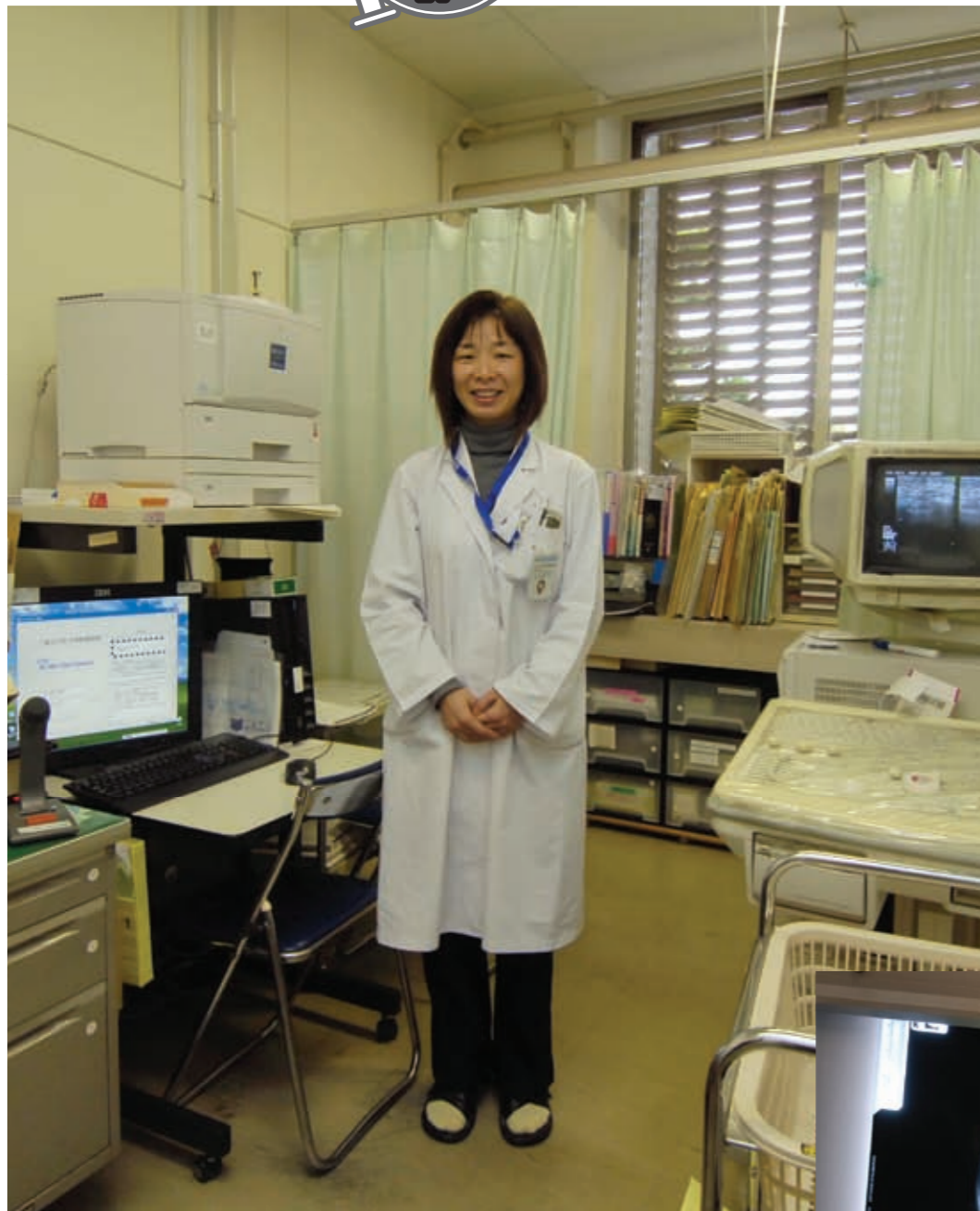
### ●予防医療

一方、事故や災害を除けば、遺伝要因と環境要因の二つが互いに関連しあって病気になると言われています。例えば、アミノ酸のフェニルアラニンが体内で利用さ

れなくなるフェニルケトン尿症という病気がありますが、この病気はフェニルアラニンを代謝するタンパク(酵素と呼びます)が先天的に無いために起こります。しかし、フェニルアラニン摂取を制限すれば症状は出ません。このことは、**遺伝要因**があっても、**環境要因**によっては病気にならないこと、すなわち**予防が可能**であることを示しています。私たちが罹る「ありふれた病気」は、正しくない生活習慣の積み重ねが原因になるので「生活習慣病」と呼ばれますが、いくつかの遺伝要因が関係していることも知られています。病気の発症に関連する遺伝子多型を検査して、生活習慣の改善に役立つプログラムも作っていきたくと考えています。

### ●これから

オーダーメイド医療の実現までには多くの課題がありますが、大きく2つにまとめることができます。1つは、どの遺伝子多型が臨床的に重要であるかという証拠を集めていく作業が必要になります。2つ目は、遺伝子検査の標準化です。遺伝子は生涯変わることはありませんから、一度検査すれば充分です。従って、検査の正確性を保証するための標準物質と標準検査法が必要になります。これら以外にも多くの課題がありますが、新しい医療の在り方を模索するという意気込みで全国初のオーダーメイド医療部を発展させていきたいと思っています。

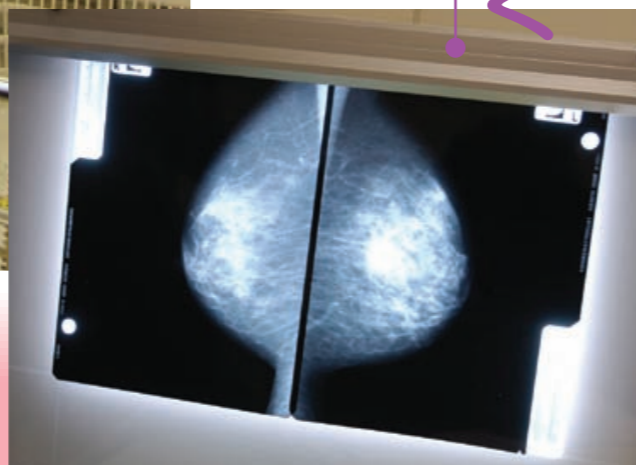


三重大学大学院医学系研究科 肝胆膵・乳腺外科学・助手  
小川 朋子  
Ogawa, Tomoko

【URL】 <http://www.medic.mie-u.ac.jp/hospital/joseigairai.htm>

## 女性専用で病院を受診しやすく 「女性外来受付」 「女性総合診療外来」開設

平成17年9月開設



＊「女性外来受付」・「女性総合診療外来」のシステム＊



三重大学医学部附属病院には、多くの女性医師がおり外来診療にあたっていますが、いつ、どこで受診したら女性医師の診察を受けられるのか、なかなか患者様にはわかりにくい状況にありました。

### ●女性外来受付

そこでこれらの情報を患者様へ提供する女性外来受付を開設し、電話で問い合わせさせていただくことにより、女性医師の診察を希望する患者様が来院しやすくなるようにしました。

どういう病気・病名かわかっていて、女性医師の診察や検査を受けたい理由がはっきりしている患者様には、その専門科を的確に紹介し、女性医師の外来をスムーズに受診していただけるようになります。

### ●女性総合診療外来

どこを受診したらいいか誰にも相談できずに悩んでいる女性のために、予約制でゆっくり女性医師の診察を受けていただける女性総合診療外来も同時に開設いたしました。

現在、乳腺内分泌外科、産科婦人科、消化管外科、皮膚科、総合診療部/家庭医療、消化器内科、内分泌内科、血液内科、精神科神経科などの女性医師による女性外来ネットワークでこのシステムを支援し、さらに発展させるよう努力しています。



# 三重県と「災害対策相互協力協定」締結

平成17年12月21日

三重県と大規模自然災害発生時に相互の協力を図るため、標記協定を締結しました。この協定は災害時に必要な活動の大枠を定めた下記の5項目となっています。



- [1] 災害発生時における被災者を支援するための要員確保等の体制整備
- [2] 避難住民受け入れに伴う支援
- [3] 救助要員の活動拠点や物資等の集積又は集配場所としての支援
- [4] 被災者受け入れに伴う医療支援
- [5] 他の協力要請事項

三重大学  
三翠ホール

# 3015人 大集合

「青少年のための科学の祭典」  
第3回三重大学大会、開催!!

平成18年2月4・5日

大学教員と学生ボランティア等による34ブースには、目を輝かせながら実験や工作を楽しむ子どもたちがいっぱい。



# ミニコンサート

平成18年1月16日

附属養護学校

ウィーン在住のソプラノ歌手、三谷結子氏の美しい歌声に集まった在学生と父兄はうっとり!! 再演の約束が待ち遠しい!!



# information

えっくすくん

# 気になる ニュース

NEWS

雑誌「週間ダイヤモンド」(1/26号)  
三重の  
ナンバーワン・オールカン  
企業15社  
三重大学キャンパス・インキュベータ  
入居企業2社選ばれる!  
『株式会社機能食品研究所』  
『株式会社イーラボ・エクスベリエンス』

受賞作品「ザリガネ同盟」  
平成17年度 読書ゆうびんコンテスト  
三重県教育委員会賞、受賞!

小学校中学年部門  
榎原 卓さん  
三重大学教育学部附属小学校 3年

独立行政法人日本学生支援機構  
平成17年度 優秀学生顕彰  
学問の部 (優秀賞) 玉置 将司さん(三重大学医学部 6年)  
ボランティア活動等の部 (奨励賞) 佐藤 大和さん(三重大学文学部 3年)

第5回全国中学生  
「防火防災に関する」  
作文コンクール  
最優秀賞、受賞!

受賞 / 櫻川 成大さん  
三重大学教育学部附属中学校 1年生  
全国最優秀賞受賞作  
「僕の家の消防団員」

2月7日、附属中学校で行われた表彰式には、東京から日本消防協会会長も来校するなど盛大なものでした。



第9回ドナルド・キーン日米学生  
日本文学研究奨励賞、受賞!

受賞 / 服部 友香さん  
本年3月卒業。現在、名古屋大学大学院文学研究科  
受賞作  
「小町集」における「あま」の歌の増補について  
〔三重大学日本文学』第15号 / 平成16年6月号刊〕  
本学在学中、人文学部の廣岡義隆教員による指導のもとで執筆された論文が高い評価を受けました。

# 鳥インフルエンザ感染者の来院か!?

2月2・6日の両日、世界的脅威となっている鳥インフルエンザ感染被疑者が来院したことを想定して、医師・看護師・薬剤師・技師など病院スタッフによる模擬訓練を実施しました。



# 生協のいちおしメニュー

- ★ サラダバー <100g> 105円
- ★ 白飯 <大> 147円 <中> 116円 <小> 84円
- ★ ササミチーズカツ 263円
- ★ みそ汁 32円



おいしい顔代表!!



奥山 店長

# ラジオ番組 家庭医学の時間

タイトル「帯状疱疹」  
放送日 平成18年4月9日(日)  
放送局 ● 毎日放送 [大阪] AM5:45~(15分間) ● 東海ラジオ [名古屋] AM6:00~(15分間)  
出演 三重大学大学院医学系研究科 病態解明医学講座 皮膚医学分野・助教授 黒川 一郎 先生



# 須賀利シンポジウム

平成18年1月20日  
漁村の風景が残る尾鷲市須賀利町をテーマとしたシンポジウム「海村・須賀利に学ぶもの」が開かれ、調査に参加した、海の博物館館長でもある石原義剛客員教授らと共に、須賀利町の魅力や、将来の課題などを考えました。



● 同時開催 ●  
写真展  
〈北出 正之氏〉  
「須賀利からのメッセージ」

# 「耐震ふすま」開発

工学部建築学科の川口助教授の研究室が鈴鹿市石薬師町のオノケン・エコシス(株)と共同で、大地震時に住宅の倒壊を防ぎ、生存空間を残すための手法の一つとして、アルミ部材を使った「耐震ふすま」を開発しています。



# 津文化協会 ~三重大学シリーズ~ 2006年度「?発見塾」?

会場◎津市図書館2階視聴覚室(リージョンプラザ内)  
第1回 文化講演会  
「世界の食べ物の安全・安心を考える」  
「情報化、国際化を目指す三重大学の連携活動」  
日時/平成18年5月27日(土) 13:30~16:30  
講師/亀岡 孝治(情報・国際交流担当理事、副学長)

# えつくすくん 気になる インタビュー



## INTERVIEW 国立大学法人の経営



三重大学 理事(財務・経営担当)・事務局長  
福島 健郎  
Fukushima, Takeo

2004年4月。  
国立大学は、各大学が個性を最大限に発揮し、  
優れた教育や研究を行いやすくすることを目的として  
法人化されました。

QUESTION

国立大学の法人化ってどういったことなの？

**今まで** ●国立大学は、各大学からの予算要求に基づいて、文部科学省から配分された予算によって運営されてきました。

**法人化** ●文部科学省等が持っていた様々な権限が大学に移管され、それぞれの大学が自ら運営について決めることのできる範囲が広がりました。

●入学金、授業料、病院収入、外部からの研究資金や独自事業費などの自己収入と国から交付される「**運営費交付金**」を財源として運営することになりました。

●大学は、中期目標(教育・研究・医療の質の向上、業務内容の改善・効率化、財務内容の改善など)に基づいて中期計画・年度計画を策定し活動します。また、社会に対して、その内容について開示説明責任があります。

●教職員の身分は国家公務員ではなくなり、労働基準法が適用され、これまで認められていなかった労使交渉ができるようになりました。

QUESTION

法人化されて、学生や国民にとって  
どういうメリットがあるの？

ANSWER

法人化されて、組織・予算面での自由度が大きくなったので、各大学の判断で、学生や社会のニーズを踏まえながら弾力的に学科を改編したり、様々な履修コースの工夫などができるようになり、それを教育・研究面や社会貢献に活かしていくことができます。

また、法人化を機に、各大学が学生サービスの重要性を改めて認識し、学生が満足できる環境作りなど、これまで以上に学生の視点に立った運営が行われるようになります。

**三重大学**は、大学本来の役割である教育・研究活動の充実を図ることに加え、地域の皆様の期待に応えるより魅力的な大学づくりを目指し、これまで以上に地域社会に貢献できる活動を展開していきます。

### ●運営費交付金●

国立大学法人が教育研究活動を継続して安定的に行うために、自己収入だけでは賅えない支出の財源として国から交付されています。

QUESTION

経営が苦しくなったら、  
授業料や入学金が大幅UPするんですか？

ANSWER

各大学が様々な工夫を凝らして学生に特別の教育サービスを提供したいなどの理由がある場合には、標準額(国が定める授業料の基準となる額)を超えて授業料を定めることができます。しかし、標準額の110%までと上限を定めているので、授業料が大幅に上がることはありません。  
標準額は、授業料(年額)535,800円、入学金282,000円  
(三重大学の平成18年度授業料、入学金は標準額と同額です。)

**三重大学**では、優秀な研究者の養成・確保という観点から、大学院博士課程の授業料を、標準額より低い520,800円に設定しています。

QUESTION

倒産することは!?

ANSWER

企業や私立大学のような独立採算ではなく、国から運営費交付金、施設整備費補助金など必要な財源が措置されます。ですから、通常の業務運営を行っている限り、経営が行き詰まって倒産ということはありません。

QUESTION

これから、経営をしていく上で  
どういう取り組みをしていくのですか？

ANSWER

国からの運営費交付金については、一部の予算を除いて経営努力目標分として、毎年1%の予算が削減されることになっています。

**三重大学**では、次のような財務経営目標を掲げています。

### 1. 自己収入や外部資金の確保、資源の有効活用

- 学生数の確保
- 地域連携や産官学連携の支援充実
- 外部資金等の戦略的経費の獲得と強化
- 空き施設の活用や一時貸与の促進
- 大学後援会の組織化

### 2. 経費の節減と効率化

- 管理的経費の10%節減を目指した「コスト削減アクションプログラム」の策定
- 業務の効率化と組織のスリム化
- 人員・人件費管理計画の策定による人件費の削減

## えつくすくん 気になるインタビュー 編集室を直撃★番外編



「大学のイメージを…ですね」  
「えつくす」のコンセプトは  
毎号、悩みますなあ…

次号の企画は  
私は身近なものがいいと思います

たとえば…

資料がまにあわない

原稿がエックがこんなにたまっちゃって

先生!! 急いで下さい

# ★ From Campus ★ 附属小学校から

## つながり合う子どもたち

**授業から得られる  
充実感・満足感を  
大切に**

三重大学教育学部  
附属小学校

[URL] <http://www.fuzoku.edu.mie-u.ac.jp/sho/>

子どもたちの学校生活の大半は、授業を通しての学習場面です。したがって子どもたちが感じる充実感・満足感は、授業の中から得られることが大切であると考えます。教育研究校として、日々授業研究に取り組み根底には、そうした問題意識があります。今次の実践研究では、「受け止める」「認め合う」「共に学び合う」をキーワードに、「学びの共同化」ということを大切にしていきたいと思います。それは、本校が貫いて取り組んできたテーマでもあります。個と集団の学びが両立するところに、その特質があります。個々の子どもの発信する考えや表現などを巧みに組み合わせ、絡み合わせながら、さらに深い思考や表現に導いていくことを追究していきます。

子どもたちの学校生活の大半は、授業を通しての学習場面です。したがって子どもたちが感じる充実感・満足感は、授業の中から得られることが大切であると考えます。教育研究校として、日々授業研究に取り組み根底には、そうした問題意識があります。今次の実践研究では、「受け止める」「認め合う」「共に学び合う」をキーワードに、「学びの共同化」ということを大切にしていきたいと思います。それは、本校が貫いて取り組んできたテーマでもあります。個と集団の学びが両立するところに、その特質があります。個々の子どもの発信する考えや表現などを巧みに組み合わせ、絡み合わせながら、さらに深い思考や表現に導いていくことを追究していきます。



▲運動会の組立体操では、みんなの心を1つにして学級で培った力を表現します。



▲授業では1つの課題について、みんなの考えを出し合い、互いを高めあっています。



▼マラソン練習は、全校児童が自分のペースで7分間走り続けます。



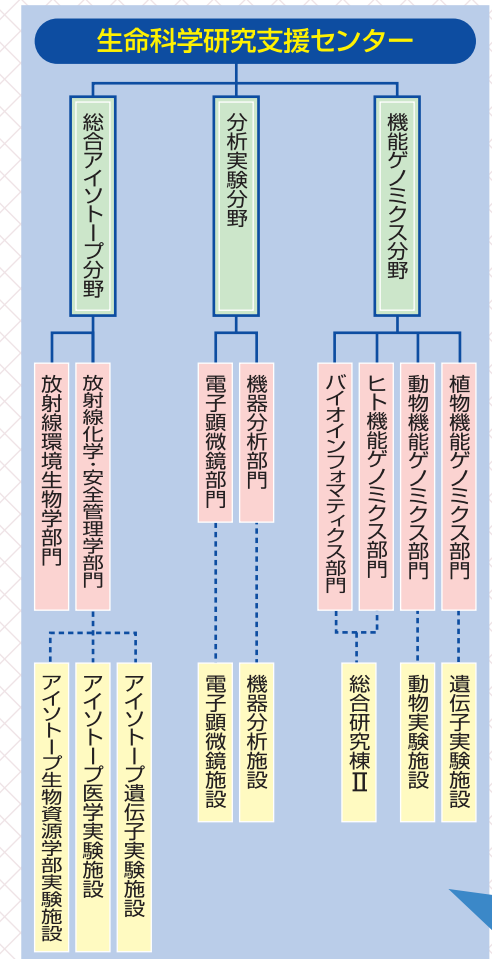
▲自分たちで自分たちの学校を創る視点から、校庭の花壇づくりに取り組みます。

# ★ From Campus ★

# 生命科学研究支援センターから

## 三重大学および地域の生命科学研究・教育の支援と推進

**生命科学研究支援センターの  
\*\*\*\*\* 特色 \*\*\*\*\***  
3つの研究分野、8つの研究部門と施設から構成されています。(図参照)



**\*\*\*\*\* 使命 \*\*\*\*\***  
三重大学および地域の生命科学研究・教育の支援を推進し、生命科学の発展に寄与し、健康増進、豊かで活力に満ちた社会を作り上げます。  
\*\*\*\*\*

**21世紀は  
生命科学の時代**

三重大学  
生命科学研究支援センター  
[URL] <http://www.lsrc.mie-u.ac.jp/>



生命科学研究支援センターでは健康で豊かな暮らしのために有用な研究開発、独創的な研究の支援を行っています。

※ゲノム細胞が持つDNAとそれに書込まれたすべての遺伝情報

いた複数の実験施設を統合し、これにヒト遺伝子解析部門と遺伝子情報解析部門を加えて、三重大学及びこの地域の生命科学を総合的に支援する組織として設立されました。

# 総合情報処理センターから

三重大学のITによる研究・教育活動の支援とIT基盤の整備・維持

## IT(情報技術)基盤を支える

三重大学  
総合情報処理センター  
【URL】<http://www.cc.mie-u.ac.jp/>

教育の支援、学術情報の収集提供などのサービス基盤としての役割を担っています。キャンパスネットワークなどの情報インフラを整備・維持し、一方で、ウィルスの侵入や不正アクセスなどの脅威に対処して情報セキュリティを確保することをしています。また、メールサーバ、WWWサーバなどの各種サーバの維持管理を行うとともに、応用プログラムの充実を図ることで、研究支援環境の拡充・整備を行っています。

ご家庭でインターネットや電子メールを使っている方も多いと思いますが、現在、インターネットや電子メールに代表される情報ネットワークが大学の教育・研究活動に不可欠なものとなっています。また、教育形態においても、通信ネットワークや衛星通信を用いた遠隔授業、eラーニングシステムなど、最新の情報技術を用いた教育が導入されています。総合情報処理センターは、情報に関する研究



総合情報処理センター

▲パソコンを使用する授業を行うための教室を5教室設け、インターネット、電子メールのほか各種応用プログラムも利用できるようになっています。



# 高等教育創造開発センターから

三重大学の教育活動の創造・開発・推進・支援

## 教育活動を飛躍させる拠点

三重大学  
高等教育創造開発センター  
【URL】<http://www.hedc.mie-u.ac.jp>

大学はレジャーランド、とは過去の言い回し。今の学生は授業出席率も高く、勉強熱心です。一方、社会からは優秀で創造的な卒業生が求められる現代。そうした時代の要請に応えるために、三重大学の教育は大きな変革の最中にあります。その中で、三重大学の教職員も日夜研鑽に励んでいます。高等教育創造開発センターは、そうした教職員の支援者であるとともに情報源となるべく、



2005年4月に設立されました。今後とも、三重大学の特色ある教育にご期待下さい。

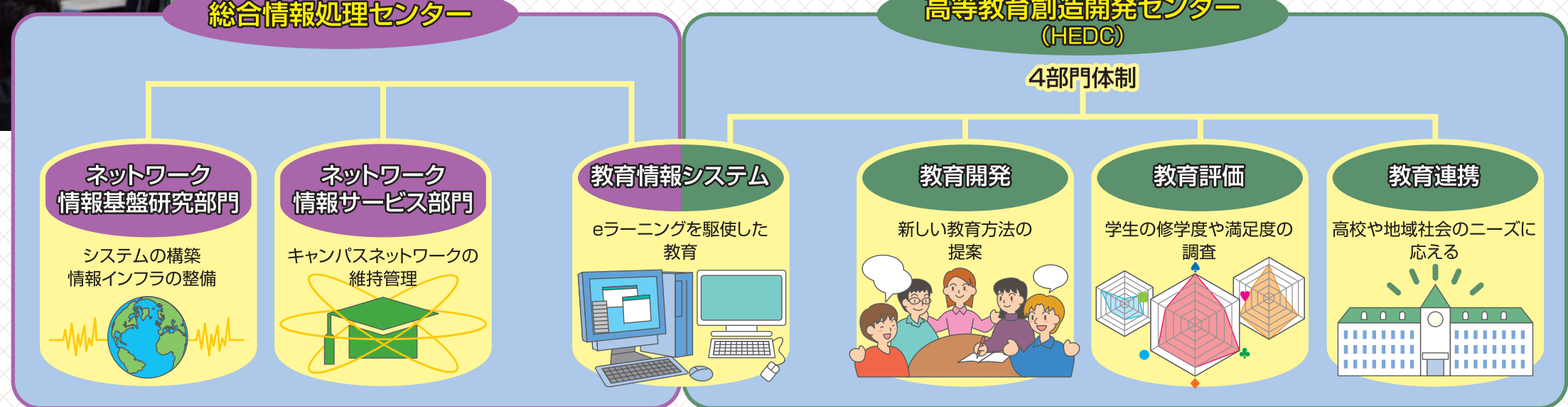
このセンターは英語名  
**Higher Education Development Center**  
の頭文字をとって、通称  
HEDC(ヘデック)の  
愛称で親しまれています

▼PBLワークショップ風景



## 高等教育創造開発センター(HEDC)

4部門体制



# Information★学校紹介

## クラブ・サークル | 硬式野球部

▼さわやか・イケメン多し!



▲部活を支える美人マネージャー

▲日本一明るくさわやかな応援団もバックアップ



選手、監督、マネージャーの息がピッタリ、ベンチも明るく元気ハツラツ、上級生下級生の隔てなく、みんな仲良しの部活です。50周年を迎えた後援会に支えられ、近年になく戦力充実で平成3年以來の全日本選手権出場目指して猛練習!三重県高野連の審判部長で、常に現場において指導方法・戦術を進化させる経験豊かな監督のもと、はじめある密度濃い練習、みんな出られる豊富な練習試合・遠征、時には国立大らしく勉強、そして、かなり遊びも…。留年する人なんていないよ?! 東国体、中部国公立大会優勝など総ナメで、国公立大学で全日本出場に最も近いと自負しています。国立大学を目指す高校球児、マネージャー大募集! いっしょに大学野球の甲子園・神宮球場にいきましょう!!

春季リーグ戦/4月1日開幕(霞ヶ浦球場他)以後毎週土日

応援にきてね!

代表 辻 仁志

(三重大学工学部 情報工学科)

[連絡先] katsu@bio.mie-u.ac.jp(生物資源学部・奥村部長) [HP] \*公開間近!

# Information★スポット

## 世界遺産 熊野古道

人文学部の「地域環境論」の授業で熊野古道に行きました。11月の終わりだったので、山奥だから寒くて大変なのではないのかなと思っていたら大間違い! 熊野古道はとてもかわしくて、とてもいい運動になりました。厚着をしていた僕はすぐ汗びっしょりになってしまいました。皆さん郷土の歴史をたどりながら、ダイエットできますよ! スポーツのひとつとして熊野古道はいかがですか。



浅野 勇貴(三重大学人文学部 社会科学科) [URL] [http://photos.yahoo.co.jp/oua\\_broadcasting](http://photos.yahoo.co.jp/oua_broadcasting)



[URL] [http://www.city.matsusaka.mie.jp/bunka/shisetsu/take\\_mu/take\\_kinenkan.html](http://www.city.matsusaka.mie.jp/bunka/shisetsu/take_mu/take_kinenkan.html)

津の南端で雲出川を渡る伊勢街道は、現在は松阪市小野江町、旧志都三雲町小野江の町並みを通ります。上流に新雲出橋ができてからは、旧街道の長い木橋も撤去され街道がとざれていきます。町並みの中ほどには、今では数少なくなつた伊勢の街道筋を特徴づける妻入りの家の前に、「松浦武四郎生家」と刻まれた石の標柱が目にとまります。その生家は八八(文政元年)ですが、今の建物は一九世紀中頃の建築であるといわれますから、誕生地、生誕地と呼ぶほうがふさわしいでしょう。

武四郎は八三年(二六歳)の江戸へのひとりに旅に始まり、全国各地に出かけて見聞を広め、二八四五(二八歳)には、初めて蝦夷の地(北海道)を訪れます。以後、何回も調査に出かけ、数多くの紀行文と地図を作っています。一時、明治政府の北海道開拓使に入ります。常に先住民アイヌ民族の文化を尊重し、晩年は当時の文



松浦武四郎記念館



武四郎の生家

三重大学工学部・非常勤講師 小玉 道明

松浦武四郎は、江戸時代後期の海軍軍医、探検家、政治家と交流しながら、次々に著作を出版したり、骨董品も収集しています。小野江地区の南には街道から西側にはずれて、水田地帯にひととき目だつ松浦武四郎記念館があります。地区の「ミニユニティセンター」も併設されていて、このあたりの文化活動の拠点になっています。記念館は旧三雲町が地元松浦家から、武四郎の著作物・地図・書画・遺品などの寄贈を受け、建てたものです。最近では、武四郎のご子孫であります東京の松浦家からも、関東大震災と東京大空襲から守り抜かれた千数百点の資料も寄贈されています。展示室では、武四郎の生涯とその時代の文化に接することが出来ます。

三重大学では、地域の皆様への情報発信の一環として、メールマガジンの創刊を企画しています。各種行事、教育研究活動上のトピックスなど「三重大」に関する情報を広く学外に紹介していきます。多くの方々からのご意見・ご提言もいただき、地域とともに発展していく大学を目指していきたいと考えています。皆様のご登録を心からお待ちしております。

### メールマガジン発行のお願い

★★★★★登録方法★★★★★

メールのタイトルに『メールマガジン希望』と記入の上、皆様がお持ちのメールアドレスを下記アドレスまで発信してください。

[koho@ab.mie-u.ac.jp](mailto:koho@ab.mie-u.ac.jp)  
(三重大学広報室)



## 歴史街道シリーズ

北海道の名付け親

## 松浦武四郎

化人や政治家と交流しながら、次々に著作を出版したり、骨董品も収集しています。小野江地区の南には街道から西側にはずれて、水田地帯にひととき目だつ松浦武四郎記念館があります。地区の「ミニユニティセンター」も併設されていて、このあたりの文化活動の拠点になっています。記念館は旧三雲町が地元松浦家から、武四郎の著作物・地図・書画・遺品などの寄贈を受け、建てたものです。最近では、武四郎のご子孫であります東京の松浦家からも、関東大震災と東京大空襲から守り抜かれた千数百点の資料も寄贈されています。展示室では、武四郎の生涯とその時代の文化に接することが出来ます。

本誌お問い合わせ先

三重大学総務部総務課広報室広報係  
〒514-8507 津市栗真町屋町1577  
TEL 059-231-9789  
FAX 059-231-9000  
ホームページ <http://www.mie-u.ac.jp/>  
E-mail [koho@ab.mie-u.ac.jp](mailto:koho@ab.mie-u.ac.jp)  
\*ご意見をお寄せください。

## 三重大 X[えっくす] vol.5

平成18年3月1日発行

- 発行/三重大学広報委員会
- 編集/三重大学広報誌編集委員会  
〈委員長〉亀岡孝治・〈人文学部〉小川真里子・〈教育学部〉岡田博明  
〈医学部〉吉田利通・〈工学部〉塩見 繁・〈生物資源学部〉吉岡 基  
〈三重大学総務部総務課広報室〉  
船木将身・中西一美・高倉美佐子・井上真理子
- 印刷/有限会社アートピア [artopia@zvtv.ne.jp](mailto:artopia@zvtv.ne.jp)

©禁断断転載 本誌掲載の文章・記事・写真等の無断転載はお断りします。



# 「環境ISO14001」の 認証取得に向けて

学生参加型による  
キックオフ宣言!!

## MIEキャンパス宣言

私たち人類は生まれてから今日まで休むことなく発展を続けてきました。しかし、この発展が私たちの暮らすかけがえのない地球を傷つけ、地球温暖化のような深刻な環境問題を生み出しています。そして現在この深刻な問題は私たちのすぐ傍まで来ています。このような状況の中で、空・山・海の三翠に恵まれた我が三重大学は、かけがえのない地球を守るため、三重県内唯一の総合大学として環境先進大学を目指します。

私たちが環境先進大学を目指すにあたり、Nature Judges our Future-自然が私たちの未来を判断する-という環境方針を掲げます。これは私たち人間だけが環境への良し悪しを判断するのではなく、自然も同じように判断するというものです。例えば、「10年後にウグイスが棲むキャンパス」というように、動物や植物に私たちの活動を判断してもらうことで、本当の意味での環境改善が図られるのではないのでしょうか。そして、この先にある人類と自然の共生を目指して私たちは活動を行っていきます。このように一歩先を見る環境先進大学を目指すにあたり、Nature Judges our Futureの更に一歩先を行くという思いを込めて、NをMへ、JをIへ、FをEへ、それぞれの頭文字を繰り上げた、自然と共生した環境先進大学「MIEキャンパス」を創造していくことを宣言します。

そのために、学生一人ひとりの環境意識を高め、一人ひとりが自主的に考え、行動しやすい空間を創造します。具体的な取り組みとして、ごみの減量、資源の再使用、リサイクルを徹底することにより、このことが当たり前と実感できるキャンパスを目指します。また、こうした三重大学で培った環境マインドを学内だけでなく、積極的に地域社会に広げていくことで、より豊かな地域社会づくりに貢献していきます。

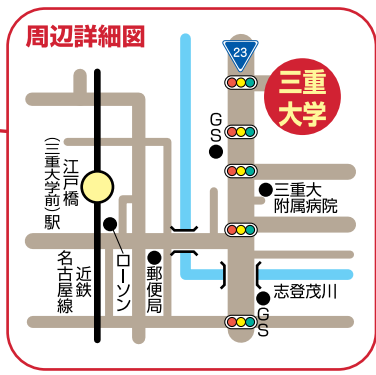
この活動を地球上のすべての生き物へ、未来の世代へ、そして地球へ伝える「MIEキャンパス」を実現します。

2006年2月21日 三重大学環境ISO学生委員会



### 交通のご案内

- 近鉄江戸橋(三重大学前)駅から徒歩15分
- 津駅からタクシーで10分
- 津駅前バスのりば「4番」から三交バスで「白塚駅前」(06系統)、「太陽の街」(40系統)、「三重病院」(51系統)、「棕本(むくもと)」(52系統)、「豊里ネオポリス」(52系統)、「三行(みゆき)」(53系統)、行きで、「大学前」下車。
- 中部国際空港(セントレア)から津エアポートラインで津なぎさまちへ40分
  1. 「津なぎさまち」から三交バスで「津駅前」まで約15分
  2. 津なぎさまちからタクシーで津駅まで約10分



〒514-8507 三重県津市栗真町屋町1577  
TEL 059-232-1211(代)  
<http://www.mie-u.ac.jp/>